

STAGE+を楽しむ(193)(HP 収録)
—ティーレマンのブルックナー交響曲 4 番—

1. 始めに

前報(192)に引き続き、STAGE+のティーレマンのブルックナーの交響曲第 4 番の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は STAGE+のティーレマンのブルックナーの交響曲第 4 番の演奏を選びました。

ティーレマンが指揮するブルックナーの交響曲第 4 番
シュターツカペレ・ドレスデン

収録日: 2015 年 5 月 23 日

聖霊降臨祭音楽祭 (バーデン・バーデン祝祭劇場) で収録されたこの映像では、ブルックナーのスペシャリスト、クリスティアン・ティーレマン指揮シュターツカペレ・ドレスデンによるブルックナーの交響曲第 4 番《ロマンティック》の演奏をお楽しみいただけます。揺らめく弦楽器とホルンのソロが印象的なこの作品。ティーレマンの長年にわたる経験が発揮され、いぶし銀の音色を持つシュターツカペレ・ドレスデンとともにブルックナーの風光明媚な音風景を描き出すことに成功しています。

演奏:

シュターツカペレ・ドレスデン

指揮:

クリスティアン・ティーレマン

曲目:

アントン・ブルックナー

交響曲第 4 番変ホ長調《ロマンティック》 WAB 104 (1878/80 年稿、ハース版)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。

本年はブルックナー生誕 200 年ということで、演奏会やアーカイブの公開が続いています。

前報(192)はバレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリンのブルックナーの交響曲第 4 番でしたが、今回は、ティールマン指揮シュターツカペレ・ドレスデンのブルックナーの交響曲第 4 番を試聴します。

ティールマンはいつもながらの端正な指揮でシュターツカペレ・ドレスデンをリードします。

ティールマン指揮シュターツカペレ・ドレスデンは、地味ながら、抒情的な表情はそうのように、重厚な表情は厚みのある重々しい演奏で、バレンボイム指揮シュターツカペレ・ベルリンとは一味違った味わいを見せてくれます。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用した結果、抒情的な表情から重厚な表情まで、ティーレマン指揮シュターツカペレ・ドレスデンの演奏の表情を展開しています。

以上